授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
小児看護学実習Ⅱ	３年次	後期	1	40	有

科目責任者	小瀧　亜矢子
目的	小児期にある子どもとその家族を総合的に理解し、成長、発達段階、心身の健　康状態に応じた看護を実践できる基本的知識・方法・倫理的態度を養う。
目標	1. 健康障害を持つ患児の成長発達を理解できる。 2. 病気や入院・治療が患児と家族に及ぼす影響を理解できる。 3. 患児の成長発達に応じた日常生活の援助を理解できる。 4. 小児の健康状態に応じたケアを実践し、小児の看護ケアの特徴を理解できる。 5. ハイリスクな状態にある新生児の治療環境と看護の実際を理解できる。 6. 小児科児外来に来院する子どもと家族の状況および看護の実際を理解できる。 7. 小児看護を学習する者として責任あるふさわしい行動を取ることができる。

内容	回	内容
	1	小児病棟オリエンテーション（病棟の特徴） 小児病棟の看護の見学（情報収集・看護問題・計画の確認）
	2	小児病棟の看護の見学と小児看護ケア実践
	3	小児病棟の看護の見学と小児看護ケア実践
	4	小児病棟の看護の見学と小児看護ケア実践
	5	未熟児集中治療室見学・小児科外来見学 最終カンファレンス　まとめ

履修条件	1・2年次すべての単位を修得していること
評価方法・基準	実習要綱に定める